

全国知事会 男女共同参画プロジェクトチーム 提言について

女性も男性も共に働き共に育むことができる社会 ～女性の活躍ウーマノミクスで日本を変える～〔論点〕

○社会の現状

- ① 出産・子育てを理由とする離職が多い（資料7-3 4頁）
（第一子出産後の退職率 2005～2009年 62.0%）
- ② 女性が指導的役割に占める割合が低い（同 5頁）
- ③ 男性の長時間労働と家事・育児への参画時間の短さ（同 6頁）
- ④ 人口減少社会において日本経済を維持・成長させるためには労働生産性の向上が必要
（同 7頁）

以上のことを踏まえた、政府への提言

○提言Ⅰ 働きやすい環境の整備

- 1 企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進（同 9～10頁）
・長時間労働の縮減に向けた取組みの強化を図り、制度改革を進めることで企業経営者や管理職層の意識改革を促進
- 2 就業継続のための支援の取組み（同 11～12頁）
・中小企業への優遇措置を創設するなど女性の就業継続に取組む企業の支援強化
- 3 再就業のための支援の取組み（同 13～14頁）
・都道府県が取り組む再就職支援相談窓口など再就業希望者支援の強化
- 4 男性の家事、育児参画の推進（同 15頁）
・男性の育児参画休暇創設、企業における男性の育児休業の取得目標設定の義務化と実績公表

○提言Ⅱ 女性の活躍促進

- 1 指導的地位に占める女性割合の増加を図る（同 16頁）
・数値目標の設定義務化と達成状況の「見える化」推進
- 2 女性人材の積極的な育成（同 17頁）
・キャリア教育の充実など女性の活躍フィールド拡大を支援

○提言Ⅲ 女性の就労意欲を高める社会システムの構築（同 18頁）

- ・税制や社会保険制度の見直し促進

○提言Ⅳ 「日本の未来を創る女性活躍応援基金」の創設（同 19～20頁）

- ・地域の実情に合わせた施策展開を継続的に支援するための基金創設